

この取り組みに関するお問い合わせやご相談は、  
以下までお願いいたします。

川崎市建設緑政局緑政部みどりの事業調整課

住所: 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話: 044-200-1202

ファクス: 044-200-3973

Eメール: 53mityo@city.kawasaki.jp

「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」

ホームページ

Instagram



\\ さあはじめよう! //

みんなが気持ちよく、  
いきいき過ごせる公園

~ Kawasaki City ~

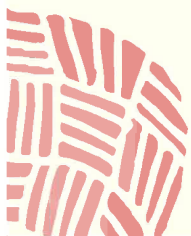
スターターブック

川崎市公園緑地事務所

みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園  
スターターブック

令和6年10月 初版第1版発行  
発行：川崎市 制作：NPO birth  
協力：公園で活動している地域の方々

※本冊子の転売・無断転載を禁じます。  
※本冊子の情報は、令和6年10月現在のものです。





\\ さぁはじめよう!! //

## みんなが気持ちよく、 いきいき過ごせる公園

～Kawasaki City～

地域のみなさんの「公園でやってみたい!」を  
実現する仕組み、

『みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園』  
始まっています!

仲間と一緒に地元を盛り上げるイベントをやりたい!  
子育てママ・パパ同士でマルシェをしたい。  
いつもお散歩する公園の花壇、お世話していいの?

など、活動の可能性は無限大。

みなさんのアイデアを持ち寄れば、  
公園とまちが、  
今よりもっと“いきいき”してくるはず。

そして、  
みなさんにもっと、もっと、  
公園とまちを好きになってもらえたら幸いです。





公園で、わくわくするコト、始まってよ!

みなさんの  
「やってみたい!」を、  
公園で形にしてみませんか?



親子向けイベントの実施



みんなで草むしり



ペン井塗り



防災イベントの実施



生きものを観察



花壇活動



樹名板づくり



公園のお知らせ板づくり

公園の活用  
事例は  
P28を  
ご覧ください。





『みんなが気持ちよく、  
いきいき過ごせる公園』  
スターターブック

## 目次

1. P.7  
川崎市の公園について
2. P.11  
『みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園』とは？
3. P.13  
公園を楽しむ
4. P.15  
公園を探す
5. P.17  
公園をはぐくむ
6. P.27  
サポート窓口
7. P.28  
公園の活用事例



### 『みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園』 スターターブックの使い方

このスターターブックでは、『みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園』を進めるうえで、地域のみなさんが公園を活用する方法や事例をまとめています。公園をもっと身近に感じるヒントがたくさん載っていますので、このスターターブックを参考に、活動の第一歩を踏み出してみませんか？





# 1.川崎市の公園について

日々、過ごす中で起こる、たくさんのこと。

新しいことにチャレンジする。

家族と大切な時間を過ごす。友だちとおもいきり遊ぶ。

みどりに触れ、心身を整える。初めて会う方と仲良くなる。

その舞台として、近くにも公園があるために。

私たちは、“いきいき”した公園づくりを目指していきます。

公園緑地は、都市におけるみどりとオープンスペースとしての中核をなしています。まちの良好な環境をつくり、安全性を確保し、市民のスポーツやレクリエーション活動の場など、重要な役割を果たす公園緑地のこと、少し立ち止まって一緒に考えてみませんか。





## 知っていますか？ 私たちの公園のこと。みどりのこと。

川崎市の公園緑地の現況は、令和5年度末現在、1,287か所・面積771.04haで、市民1人当たりの公園面積は4.98㎡です。



### 市民1人当たりの公園面積



※令和5年度末現在

近年、大規模自然災害や感染症の世界的な流行の影響など、生活や社会状況が大きく変わる中で、貴重なみどりのオープンスペースである公園緑地の価値や重要性が再認識されています。

公園緑地はこれまでの機能に加え、防災力の向上、脱炭素社会の実現、生物多様性の確保など、より多面的な機能を最大限発揮することが求められています。

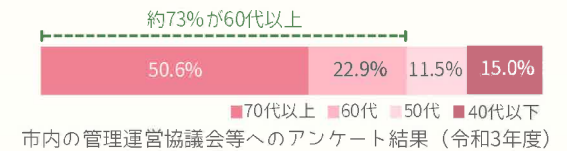
今後も、子どもや高齢の方でも歩いて行ける身近な公園から大きな公園まで質や機能を高めていくことで、まちの魅力や価値を高め、みどりやスポーツ、レクリエーション等の拠点としてふさわしい公園緑地を、市民のみなさんとともにはぐくんでいきます。

そんな、1,200を超える公園緑地の70%以上で、公園緑地愛護会・管理運営協議会（p23参照）、花壇ボランティア等が活動し、地域のみなさんの協働による公園運営が推進されています。清掃活動など、公園管理に携わる地域の方々のおかげで、うつくしい公園緑地が保たれています。

### 公園緑地愛護会・管理運営協議会の数 (令和5年度末)



#### 会員の年齢構成について



しかし近年、各団体の高齢化や担い手不足に伴い、活動の維持が難しくなり、活動の縮小や団体の解散といった課題に直面しています。川崎市における公園緑地の管理状況は、全公園緑地数の約3分の1にあたる360公園に担い手がいない状況となっています。



身近なみどりを維持するためには、今まで以上に地域のみなさんが公園に愛着を持ち、地域が主体となった公園の活用や運営を促すような、新たな仕組みづくりが求められています。

## 2. 『みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園』とは？

\\ さぁはじめよう! //

### みんなが気持ちよく、 いきいき過ごせる公園

～ Kawasaki City ～

川崎市では、地域のみなさんとともに、公園緑地に関わる課題の改善や持続的な管理運営を目指した取り組みを推進しています。これまでも多くの市民や団体、企業等に支えられ、その活動は全市に広がりを見せてきました。しかし、公園緑地の認知度の低さや担い手不足など、まだまだ課題も見えてきています。

地域の大切なみどりや公園を、次の世代につないでいくために。

これまでの取り組みに加え、さらに発展させるためには、より多くの方々に公園緑地に関わっていただく仕組みづくりが必要です。

そこで、もっと自由に楽しく公園を活用できるよう、地域のみなさんが「公園でやってみたい!」を実現しやすくなる仕組み『みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園』がスタートしました。

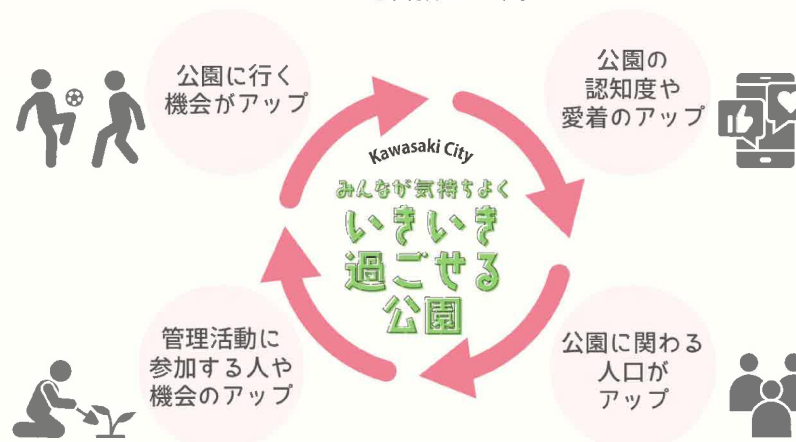
公園をみなさんが  
輝ける場所へ。



『みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園』では、多くの市民のやりたいを実現。



公園に関わる人や機会が増えることで、公園や地域の価値・魅力が向上し、その名のとおり、「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」を目指します。





### 3.公園を楽しむ

公園の楽しみ方は人それぞれ！  
ひとりでも、みんなとでも。  
のんびりでも、おもいきりはしゃいでも。  
本を読んでも、おしゃべりしても、樹木や花、虫と触れ合っても。  
公園を楽しむと、楽しい交流や新たな発見があります。

自分たちで見いだす「公園の可能性」。  
一緒に楽しみながら公園を盛り上げていきましょう。



### 日常的に楽しむ

個人や家族、知人などで日常的に公園を利用します。公園のルールの中で、自由に利用できます。



かけっこ、遊具の利用、お絵描き、水遊び、イベントへの参加など

自由に使えるからこそ、周辺住民や施設、ほかの利用者への心配りを忘れないようにしましょう！

### コミュニティで楽しむ

町内会や子ども会、婦人会、老人会、企業や教育機関、福祉団体、その他地域団体など、地域コミュニティをいかして、公園を楽しむことができます。



仲間同士で自由に公園を利用することが可能ですが、公園の一部を区切って利用したい場合は、『公園内行為許可』等の申請が必要です（P25参照）。判断が難しい場合は、「公園活動サポート窓口（実証実験中）」までご相談ください。



また、少人数での公園の清掃や花壇のお手入れなど、ボランティア活動を始めたい方は、P21をご覧ください。





## 4.公園を探す

休日によく行く大きな公園も、ママ友が集まる近くの公園も、路地にひっそりある、いつも静かな公園も。

どんな公園も楽しめる可能性を秘めています。自分のお気に入りの公園を見つけてみましょう。

生田緑地



王禅寺ふるさと公園



橘公園



菅生ヶ丘公園



夢見ヶ崎公園



富士見公園



等々力緑地



殿町第2公園

### 【公園にも種類があるの？】

川崎市には、1,287もの公園緑地があります（令和5年度末時点）。それらの公園緑地は遊び、運動、学び、防災等、さまざまな役割や機能、規模によって区別されています。これらの分類を知っておくことで、みなさんのライフスタイルに合った公園を探ることができます。

#### ●住区基幹公園

最も数が多く、まち中にある身近な公園です。面積が小さい順に①街区公園、②近隣公園、③地区公園と分けられます。

#### ●都市基幹公園

都市全域の住民が利用することを想定した大きな公園です。①総合公園、②運動公園と分けられます。川崎市には計6か所あります。

#### ●特殊公園

森林や植物園など特殊な利用に供される公園です。①風致公園、②植物公園、③広場公園、④墓園などがあります。



川崎市の公園一覧はこちら



## 5.公園をはぐくむ

大好きな公園を自分たちの手でつくる、デザインする。

たくさんの人に公園を安心して楽しんでもらうために必要な公園の管理運営。

公園を支えるのも大切な活動の一つ。  
みなさんの思い出の詰まった愛される公園を残すためにも、無理なく、楽しく、一緒に公園をはぐくんでいきませんか？

公園をはぐくむ仕組み。

気軽に公園の運営に参加したり、イベントを実施してみるなど、はぐくみ方はいろいろあります。

自分らしい公園のはぐくみ方を  
考えてみよう！



仲間と公園で  
イベントをやってみる

たとえば…  
マルシェ、体操教室、  
天体観測会、防災イベント  
など

大好きな公園を  
キレイにする

たとえば…  
清掃、草刈り、剪定、  
花壇のお手入れ など



「新たなコミュニティをつくってみたい」  
「植物や昆虫のことを教えたい」  
「まちのみどりを大切にしたい」  
「何かの役に立ちたい」



どんな動機でも大丈夫です。  
自分のできる範囲で活動を検討してみましょう。





## 地域の仲間と一緒にやってみてみたい方は、 イベントの実施

※(公園の一部を区切って利用する場合)

『公園内行為許可』の申請・協議をすれば、「公園でやってみたい!」の実現が可能です。実施のポイントを理解し、ルールを守って楽しく公園を活用しましょう。



たとえば…

マルシェ、親子フリマ、防災イベント、夏まつりなど。

### 【対象】

- ・個人や団体、事業者など、どなたでも企画提案可能。
  - ・「活動を通して地域をよくしたい!」という想いがある方。
- ※暴力団等の反社会的勢力およびそれに属する個人、または密接な関係を有する個人および団体に該当する方の活動はできません。

### 【実施のポイント】

#### <公共性>

- ・誰もが気軽に参加できるイベントか。
- ・公園で実施するにあたって適した内容のイベントか。
- ・イベントの実施に合わせて、たとえば、公園のゴミ拾いや落ち葉かきなど管理作業の協力、公園や周辺地域、公園利用者等への地域貢献になるか等。



#### <実現性>

- ・近隣地域への影響に配慮した対策が取れているか。
- ・一般来園者の公園利用に支障をきたすおそれがないか。
- ・公園で活動している既存の団体と調整がとれているか。

#### <地域性>

- ・対象とする公園の地域性や公園特性を十分に配慮しているか。



## 公園を使うまでのステップ

地域のみなさんの素敵なアイデアを公園で形にするために、基本的な流れは以下のとおりです。手順に沿って、安全に楽しく公園を活用していきましょう。

### STEP1 | 相談してみよう



- アイデアを「公園活動サポート窓口(実証実験中)」に相談します。(相談先はP27へ)
- 企画運営にあたってのアドバイスを受けることができます。

### STEP2 | 企画を立ててみよう



- 公園や地域の特性を考慮しながら、具体的な企画を立てていきます。

### STEP3 | 申請が必要か確認しよう



- 『公園内行為許可申請』を行います。
  - 申請が受理されたら、使用料の納付、許可書の受け取りを行います。
- ※企画内容に応じて、使用料の免除や、保健所や消防署へ、別途手続きや申請が必要な場合があります。(手続き・申請先はP25へ)

### STEP4 | 準備や広報をしよう



- イベントの準備、関係者との調整や広報を行います。
- 準備や広報についても、「公園活動サポート窓口」からアドバイスや支援を受けることができます。

### STEP5 | イベントを実施しよう

- 当日の運営を行います。
- 成果、課題を振り返ることで、次回開催時の企画、準備、運営がスムーズになります。
- 楽しく公園を活用したあとは、キレイにして帰りましょう。

※実施するイベントの内容や規模により、ステップが異なりますのでご相談ください。

3  
か  
月  
前

2  
か  
月  
前

当  
日

実  
施  
後







少人数や個人からでも活動を始めたい方は、  
**ParkUP LifeUP kawasaki**  
パークアップ ライフアップ かわさき



**実証実験中**

公園がステキになると、自分のまちが楽しくなる！

**【ParkUP LifeUP kawasakiとは】**

川崎市では、既存の活動に加え、より多くの地域の方々に公園づくりに参加していただくための取り組みを進めています。

『ParkUP LifeUP kawasaki』は、川崎市の公園緑地における花壇づくりや清掃などを少人数や個人から気軽に始められるよう、活動を支援する新たな試みです。

身近な公園をとおして、  
 みんなのまちや生活をより豊かにしていきませんか？

- Point1**  
 ✓ **マイペースに活動できる！**  
 親子でも少人数でも始められます。相談窓口との連絡は、LINEで行えます。
- Point2**  
 ✓ **活動グッズがあります。**  
 活動の証として、オリジナル腕章などを貸しだします。相談に応じて、活動サポートも行います。
- Point3**  
 ✓ **もしものときも安心！**  
 ケガなどに備えて、ボランティア保険に加入できます。安心して活動いただけます。

**【名前に込めた想い】**  
 公園で気軽に会う。地域の人とゆるやかな交流を図る。日常の生活のなかに公園での活動が入り込んでいる。公園で偶然会って、あいさつし合い、コミュニケーションが生まれ、一緒に花壇づくりや清掃をする。この事業をとおして、公園を中心に、明るく気軽な出会いがたくさん生まれ、まちがより楽しくなることを期待しています。



**神木三本松公園での活用事例**

神木三本松公園の花壇のお手入れや公園の清掃を、地域のみなさんが協力して行っています。『ParkUP LifeUP kawasaki』の取り組みを利用し、活動の目印となる腕章や立て看板を設置。そして新たに「ちりとり」や「庭ほうき」を公園内に備え付けました。

⇒詳しくは事例P33へ



**菅生ヶ丘公園での活用事例**

菅生ヶ丘公園に隣接するカフェでは、子ども食堂の開催に合わせて、子どもたちと一緒に公園の草むしりやごみ拾いなど、清掃活動をしています。『ParkUP LifeUP kawasaki』を活用し、公園内に「お知らせ板」を設置。用意したベニヤ板に子どもたちがマジックで絵を描いた手作りです。

⇒詳しくは事例P32へ







地域の人々と、公園づくりに関わりたい方は、  
**公園緑地愛護会と管理運営協議会**

**公園緑地愛護会とは。**

公園緑地愛護会とは、自分たちに身近な公園について、いつも気持ちよく利用できるように地元の町内会や子ども会などが中心となって組織されたボランティア団体です。

主な活動内容は清掃や除草、遊具の点検などです。



**【主な活動内容】**

- ・公園内の除草、清掃
- ・破損遊具の連絡
- ・不法投棄物の連絡
- ・事故時の連絡
- ・砂場内のごみの除去



**報奨金交付基準（年額）**

面積	500㎡以下	501㎡～ 1,500㎡	1,501㎡～ 3,000㎡	3,001㎡ 以上
金額	12,000円	18,000円	24,000円	30,000円

**公園緑地愛護会・管理運営協議会に関するお問い合わせ**

新しく公園緑地愛護会や管理運営協議会を立ち上げるためには手続きが必要です。

また、既存団体の活動に参加したい場合も、お気軽に各区役所道路公園センターにお問い合わせください。



**管理運営協議会とは。**



管理運営協議会は、街区公園などの管理運営を円滑に推進していくため、当該公園に関わる公園緑地愛護会、公園利用者、町内会などで組織された団体です。愛護会との違いは、日頃の清掃活動だけでなく、剪定などの作業も行います。

また、一定の行為については、管理運営協議会において、公園の利用調整を行うことができます。

**【主な活動内容】**

- ・公園内の除草、清掃
- ・破損遊具の連絡
- ・不法投棄物の連絡
- ・事故時の連絡
- ・砂場内のごみの除去
- ・高さ2mまでの下枝落とし
- ・低木の刈り込み
- ・町内会等が主催する行事等の利用調整



**報奨金交付基準（年額）**

面積	200㎡以下	201㎡～ 500㎡	501㎡～ 1,000㎡	1,001㎡～ 1,500㎡	1,501㎡～ 3,000㎡	3,001㎡ 以上
金額	24,000円	42,000円	54,000円	60,000円	78,000円	90,000円

- 川崎区役所道路公園センター 044-244-3206
- 幸区役所道路公園センター 044-544-5500
- 中原区役所道路公園センター 044-788-2311
- 高津区役所道路公園センター 044-833-1221
- 宮前区役所道路公園センター 044-877-1661
- 多摩区役所道路公園センター 044-946-0044
- 麻生区役所道路公園センター 044-954-0505



公園緑地愛護会・  
管理運営協議会に  
ついてはこちら










## 手続き・申請先一覧

企画内容に応じて、手続きや申請が必要になります。イベントなどの実施までに申請・届出を済ませてください。主な窓口や申請は下記のとおりです。

食品提供や火気使用がある場合は、早めに衛生課や消防署に相談し、どのような申請が必要か確認をしておきましょう。

※記載の限りではありません。企画内容に応じて確認が必要です。

企画内容	届出内容	問い合わせ・届出先	届出期日	HP
公園の一部を区切って利用する場合等	公園内行為許可申請書等	各区の道路公園センター	15日前まで	
飲食の提供 (営業にあたる ない出店)	・行事開催届 ・出店概要書等	各区の衛生課	2週間前まで	
飲食の提供 (営業にあたる 出店)	・出店者営業許可 ・行事開催届 ・出店概要書等	各区の衛生課	2週間前まで ※営業許可の標準 処理期間10日	
火気器具等を使用する露店や屋台の開設	道路工事及び露店開設等届	所管消防署 (オンライン申請)	3日前まで	
焚き火や発電機などの火気の使用	火災と紛らわしい煙又は火災を発生のおそれのある行為届	所管消防署 (オンライン申請)	3日前まで	

### ●その他保険

ボランティア活動や市民活動イベントを実施する際、もしものときに備えて保険に加入することをおすすめしています。ボランティアセンターが受け付けているボランティア保険(有料)に加入することができます。詳しくは川崎市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

また、もしものに備えてイベントや催事に関わる保険があります。「イベント賠償責任保険」や「レクリエーション傷害保険」など、加入検討することをおすすめします。



## 公園で活動をはじめたい人向けのQ&A

### 相談するタイミングについて

**Q** 公園で、イベントを行いたいのですが、企画内容が固まっていなくても相談して大丈夫でしょうか。

**A** 企画内容が固まっていなくても、相談は可能です。ほかの事例の紹介もできますので、お気軽にご相談ください。

### 活動する公園について

**Q** 公園での活動(花壇等)を考えているのですが、どこの公園でも大丈夫でしょうか。

**A** どこの公園でも活動内容を把握する必要がありますので、お気軽に相談窓口まで、お問い合わせください。

### 活動する人の居住地について

**Q** 川崎市に、在住・在勤・在学していないのですが、川崎市内の公園の活動してもよいでしょうか。

**A** 市内外問わず活動が可能です。

### 活動できる主体について

**Q** 団体や企業でも支援は受けられますでしょうか。

**A** 個人や団体・企業でも支援が可能な場合がありますので、お気軽にご相談ください。





## 6. サポート窓口

実証実験中

令和7年3月31日まで

# 公園で活動したい方 応援します！

いつも遊ぶ公園で  
ゴミ拾いしたいなあ…

子どもと花壇活動  
したいなあ…

近所の公園でいろんな  
イベントができれば  
いいのになあ…



SNSによる相談窓口  
実証実験中！  
令和7年3月31日まで



LINE (ライン) から  
ご相談フォームへアクセス！  
お友だち登録後、画面下の  
「相談申し込み」をクリック！

公園活動サポート窓口  
スタートしました！

公園でやってみようと思うけど、どうしたらいいかわからない…。そんな声に応え専用の窓口を開設しました！清掃、イベント、花壇活動など、あなたのやりたいことお気軽にご相談ください。

## 7. 公園の活用事例

活動している方への  
インタビュー



- ①子育て向けイベント（大師公園ほか）  
『コトキュンかわさき』松本りよこさん
- ②そなえナイト（大師公園）  
『大師ONE博』奥貫賢太郎さん
- ③子ども食堂（菅生ヶ丘公園）  
『Eriii's Cafe』小林貴大さん
- ④花壇のお手入れ・清掃活動（神木三本松公園）  
麻生美江子さん
- ⑤地域イベントの共催（王禅寺北第6公園）  
『児童養護施設 白山愛児園』隈元愛美さん



川崎市の公園での  
活用事例集





活用事例① 子育て向けイベント（大師公園ほか）

## アイデアを出し合って、 公園で生まれる親子の幸せ時間。



「パパとママをハッピーに♡」を合言葉に生まれた『コトキュンかわさき』。地域の親子の居場所づくりを行う、子育て応援プロジェクトです。イベントや定例の活動を主に公園で開催し、地域が一段と盛り上がっています！『コトキュンかわさき』メンバーの松本りよこさんに、孤立しない子育て世代のコミュニティづくりと、公園の活用について伺いました！

### 子育て世代の"つながり"を みんなで一緒に。

川崎駅前の東田公園にある施設『コミュニティーハウスさくら』で、ピラティスを親子向けに教えていました。そこで子育て世代向けに活動を行っている方々とつながり、子育て世代を対象としたイベント実施のため、立ち上がったのが『コトキュンかわさき』です。今は東田公園に限らず、親子が集まるところに出向いて、月に1回の集まり「子育て広場」の実施や、大師公園などでイベントをしています。

川崎市が地元で、長く住んでいるママと、違う地域から引っ越してきたママがいて、横のつながりを作りにくい背景があったので、同じ地域に同じくらいの子

どもがいるもの同士、みんなで集まって気軽に相談し合える関係が作れるといいなと思いました。SNSがコミュニティづくりの大きなツールとなっている現代で、リアルに会うことを大切に、産後や子育ての悩みを共有できるような場づくりを目指して活動を行っています。

現在、運営のメンバーは6名います。現



役の保育士さん、親子体操教室の先生、紙芝居をやっている方、元幼稚園の先生もいます。それぞれ特技が違って、紙芝居、楽器演奏や歌、ダンスやヨガなど、さまざまなプログラムを行っています。メンバーにはパパもママもいますし、年齢や特技が異なるので、自由に意見を出し合って企画を考えていて、コミュニティがどんどん広がっています。

### オープンな公園を楽しむ！

大師公園で子育て向けイベントを実施したことをきっかけに、大師公園から「会を応援したい」とお声がけいただき、主に屋外で活動を行っています。

園内の「少年野球場」は、芝生がとてもキレイに整えられているので清潔ですし、囲いもあるので安心して子どもたちが自由に遊べます。お天気に左右されやすい点がありますが、真夏や悪天時は近くの室内で集まるようにしています。参加費を取らないプログラムの日は、近くの保育園のみなさんがふらっと遊びに来てくれたり、とてもにぎわっています。

### 公園から生まれる、 地域のコミュニティ。

『コトキュンかわさき』が公園での活動を通して目指しているのは、「大師公園の近くで子育てできる環境っていいよね」と、多くの方が思ってくれることです。単純に「大きな公園があるからいいよね」ではなく、「公園から地域のつながりが生まれていて、その環境で子育て



ができるのがいいよね！」と思ってもらえるとうれしいです。

これから地域で活動を始めするには勇気がある方も多いと思うので、たとえば、まずは興味のあるイベントに足を運んでみて、主催者につながるのもいいと思いますし、そこまでじゃなくても、仲のよいママ友同士、それぞれの友だちを誘ってみんなで公園でピクニックしよう！というのも、楽しくて新しいコミュニティが生まれるきっかけになると思います。



『コトキュンかわさき』松本りよこさん

### 『コトキュンかわさき』

親子でキュンとする体験価値の創造。地域の親子の居場所づくりを行う川崎市川崎区の子育て応援プロジェクト。大師公園などでさまざまな子育てイベントや毎月定期的「子育て広場」を開催。詳しくは『コトキュンかわさき』のInstagramをご覧ください。





## 地域のみなさんと、自由なアイデアで 公園を使いこなすイベントを実施！

### 【内容】

『大師ONE博』は、川崎区大師地区を中心に、公共資源をいかし地域や人を"わんぱく"にさせるイベントやプロジェクトを企画運営する団体です。企画運営に携わった『ゆるっとまるっとパーク大作戦』は、大師公園を舞台に、地域に関わる団体、企業、行政が個性を生かしつつ協力し合い、飲食、ダンス、遊びなど「こんな公園の使い方ができたらおもしろい！楽しい！」をゆる～く実践するイベントです。



### 【目的・想い】

住民主体・住民目線で"あったらいいな"をとにかく形にしてみることを大切にしています。特に、「公園にはもっと活用の可能性があるはず！アイデアは1つでも多く試したい！」と考えていました。そこに、想いを共有できるみなさんと出会い、イベントが動き出しました。『ゆるっとまるっとパーク大作戦』では、イベントの全体管理を担うとともに、『そなえナイト』を企画運営しました。広域避難場所である大師公園で災害時の備えを体験的に学ぶ防災教育を目的に、普段禁止されている公園内での焚き火（火気使用）を行うなど挑戦的な内容でした。

### 【実施までの準備や運営のポイント】

「やってみたい！」を発信することが大事だと思います。『そなえナイト』の準備では、企画づくりへの協力を広く地域に呼びかけました。その結果、川崎市から防災知識を学ぶ出前講座を、地元企業である味の素株式会社から防災食レシピと食品の協賛をいただくなど、仲間が増え、企画のネタや材料が集まりました。各種申請や近隣住民への告知など、わからない点は川崎市に相談し、助言やサポートをいただくことで、スムーズに進めることができました。



『大師ONE博』 奥貫賢太郎さん

### 【やってみての感想】

実施の結果、「貴重な経験ができてうれしい！」「身近な防災対策を知れてよかった」と好意的な声が届き、挑戦した甲斐がありました。まちを豊かにする公園の使い方はまだまだあると思います。公園活用の担い手の輪が広がるよう、これからも仕掛けていきたいです！



『大師ONE博』の詳細はこちら⇒

## 子ども食堂の開催に合わせて、 大好きな公園をみんなで盛り上げよう！

### 【内容】

宮前区の住宅街にある菅生ヶ丘公園。隣接する『Eriii's Cafe（エリーズカフェ）』では、毎月第3木曜日に子ども食堂を開催しています。食堂にやってくるたくさん子どもたちと一緒に、公園の草むしりやごみ拾いなど、清掃活動を実施。子どもたちがいつも遊ぶ公園を自分たちでキレイにしています！



### 【目的・想い】

公園で活動するようになったきっかけは、もともとカフェの店内で開催していた子ども食堂の参加人数が増え、店内に入りきらず、泣く泣くテイクアウトに変更したことからです。カフェに来た子どもたちがお店の前の歩道で遊ぶようになり、歩道が子どもであふれて安全に開催ができなくなりました。そこで、近くの菅生ヶ丘公園に誘導し、公園で子どもたちと遊ぶようになりました。町内会や役所の方々にも協力いただき、現在は公園を活用して子ども食堂を行っています。

### 【実施までの準備や運営のポイント】

少人数での公園運営を支援する『ParkUP LifeUP kawasaki』を活用し、清掃道具を公園内に設置。清掃道具があることで、みんなで楽しく清掃活動をしています。また、公園に手作りの「公園のお知らせ板」を作成しました。子どもたちがポスカで絵を描いて作ったとても賑やかな掲示板です。イベントなどを告知したり、これからも公園が盛り上がりそうです！（『ParkUP LifeUP kawasaki』の詳細についてはP21参照）

### 【やってみての感想】

地域にオープンな公園で開催することで、新しく来る方も気軽に立ち寄りやすくなりました。参加している子どもや通りがりの子ども、親子、高齢者等とも公園で関わりが生まれ、自然と知らない子ども同士が遊ぶようになったり、知らない大人同士が世間話を始める光景を目にします。新しい繋がりが生まれる公園になりつつあると感じています。



『Eriii's Cafe』  
小林貴大さん



『Eriii's Cafe』の詳細はこちら⇒



## 気の合う仲間と、 花壇のお手入れや清掃活動。

楽しく  
土いじり  
してます！

### 【内容】

神木三本松公園は川崎市宮前区にある、住宅街のコンパクトな公園です。日頃から地域で花壇のお手入れや清掃活動を行っています。今までは自身で用意していた清掃道具なども、新たにできた『ParkUP LifeUP kawasaki』を活用し、掃除道具を公園内に設置しました。公園の運営がより手軽になり、花壇も季節の花がキレイに咲いています。



### 【目的・想い】

地域の公園をキレイに保つために、10年ほど前から活動しています。暑い夏は特に大変ですが、今は3~4人で回しています。公園を通る方から「お花が咲いていてキレイ」、「大変だね、ありがとう」と声をかけていただくのがとてもうれしいです。前は公園に草が茂って、夜にうるさくする方もいて、苦情があったみたいですが、公園がキレイになったことで、ほとんどなくなったと地域の方に喜ばれました。

### 【実施までの準備や運営のポイント】

管理運営協議会が解散して、少人数でも花壇のお手入れができないか、道路公園センターへ相談に行きました。その後、川崎市建設緑政局緑政部みどりの事業調整課からのアドバイスで、少人数での公園運営を支援する『ParkUP LifeUP kawasaki』を活用することになりました。活動の証として、看板の設置と腕章の貸し出し、そして公園内に「庭ほうき」や「ちりとり」が設置され、毎回持参する手間が省けました。



麻生美江子さん

### 【やってみての感想】

『ParkUP LifeUP kawasaki』の看板を設置したところ、気にかけてくれる方もいます。公園には花壇だけでなく、自然に育っている花も多いので、小学生も観察に来てくれるとうれしいですね。今はお庭がないお家も多いと思うので、ぜひ公園で草花と触れ合ってください！

## みんなで一緒に。 楽しく取り組む地域の公園づくり。

### 【内容】

川崎市麻生区にある王禅寺北第6公園。住宅街の中にある比較的広めな公園で、遊び場には砂場や、ブランコ、ジャングルジムがあり、日頃から子どもたちが遊びに来ています。そんな、王禅寺北第6公園を舞台に、地域のみなどおしゃべりしながら気になることをやってみる『イドバタパークデイ』を実施。公園の生きもの観察会や、樹名板づくりなど、公園をもっと好きになる企画を行いました。町会や近くの児童養護施設のみなさんも参加し、イベントに合わせて公園の清掃を行うなど、公園を通したコミュニティづくりが生まれました。



### 【児童養護施設 白山愛児園の想い】

施設で暮らす子どもたちにとっても、地域に“居場所”があることはとても大切です。遊具で遊んだり虫を捕りに行ったり、友だちと待ち合わせをしたり。ホッと一息つきに行く子もいるでしょう。そんな“居場所を”きれいに保ってくださっている方たちがいることを、恥ずかしながらこの職に就くまで意識したことすらありませんでした。『イドバタパークデイ』に参加してから、公園の前を通るたびに「あのペンキは私が塗ったんだよ！」とうれしそうに教えてくれる子どもたちを見て、この活動は楽しいだけでなく公園を大切に使うという気持ちが芽生えるきっかけになるのだと実感しました。地域のみなさんと楽しみながら素敵な公園をつくっていくこの活動が、今後もいろいろな場所でたくさんの人を笑顔にしていけることを願っています。



みんなで作った樹名板



『児童養護施設 白山愛児園』  
隈元愛美さん